2026 年 10 月 12-18 日

129 番の歌 決して負けない 最後まで

あなたもサタンに必ず勝てます

「*私たちは戦っているからです。人間とではなく……天にいる邪悪な天使の勢力と戦っています*」。エフェソス 6:12

ポイント：戦うべき相手を間違えないのは大切です。敵は兄弟姉妹ではなく，サタンと邪悪な天使たちです。

1. 私たちの敵は誰ですか。（エフェソス 6:11，12）

私たちは戦っています。文字通りの戦争ではなく，サタンと邪悪な天使たちとの戦いです。（エフェソス 6:11，12 悪魔の策略にしっかり立ち向かえるように，神からの武具を全て身に着けましょう。 12 私たちは戦っているからです。**人間とではなく，政府や権威，この闇の世の支配者たち，天にいる邪悪な天使の勢力**と戦っています。 を読む。イザ 2:4 神は国々の中で裁きを下し， 多くの人々を正しい方向に導く(*人々に関して物事を正す)。 彼らは剣をすきに， やりを鎌に作り替える。 国は国に向かって**剣を振り上げず， 彼らはもはや戦いを学ばない**。ヨハ 18:36 イエスは答えた。「**私の王国**は**この世界のものでは**ありません。もし**そうだったなら**，私に付き従う者たちは，**私をユダヤ人たちに渡さないように戦った**でしょう。しかし実際は，私の王国はこの世界からのものではありません」。）普通に戦っても勝ち目はありませんが，エホバのサポートがあれば必ず勝てます。でも，私たちとしても敵のやり口を知らないといけません。

2. この記事ではどんなことを考えますか。

2 前の記事ではサタンの常とう手段を考えました。エホバとイエスへの不信感を持たせようとすることです。この記事ではもう 2 つ考えていきます。①会衆を中からかき乱し，みんなをばらばらにさせようとすること。そして，②反対を利用して意気をくじき，エホバから任された仕事は到底できない，と思わせようとすることです。

会衆を中からかき乱す

3. サタンは私たちにどうなってほしいと思っていますか。

3 サタンは会衆の中で仲間割れを起こそうとしています。そうやって，本当の敵はサタンなのに，兄弟姉妹と戦わせようとしてきます。サタンは，会衆の温かい雰囲気を壊して，この世の中のような冷たい雰囲気にしようとしています。お互いを心から信じられない，うわべだけの関係です。サタンの狙いは，兄弟姉妹を嫌いにならせ，エホバの家族と距離を置かせることです。（ロ

マ 16:17 兄弟たち，皆さんに勧めます。分裂を引き起こし，**過ちのもと(*信仰の妨げ)となる人たちに気を付けて**ください。皆さんの**学んだ教えに逆らう人たちを避ける**のです。）

4. サウルがダビデを嫌いになったのはどうしてですか。（挿絵も参照。）

4 サウルは最初，ダビデのことが好きでした。強くてポテンシャルのある若者だったからです。（サム一 18:5 ダビデは戦いに出ていくようになり，**サウルに遣わされて行った先々で功績を上げた(*賢く行動した)**。それで**サウル**は**ダビデに戦士たちをまとめさせ**た。民の皆もサウルの家来たちもそのことを喜んだ。）でも，ダビデが国民的大スターになっていくのを見て，穏やかではいられなくなります。ダビデへの嫉妬の気持ちがどんどん強くなり，ダビデを殺そうとしてしつこく追い掛け回します。（サム一 18:9-11 その日以降，**サウル**は**絶えずダビデを疑うような目で見た**。 10 翌日，神はサウルが陰鬱な気持ちになるままにしたので，サウルは家の中で異常な(*預言者のような)行動を取りだした。ダビデはいつものようにたて琴を奏でていた。やりを手にしていたサウルは， 11 「**ダビデを壁に突き刺してやる**」と思い，それを投げ付けた。ダビデは２度，身をかわした。）ダビデは，エホバから次の王に選ばれていました。（サム一 16:13 サムエルは油が入った角を取り，兄たちの前で彼に油を注いだ。**その日からダビデはエホバの聖なる力を受けるようになった**。その後サムエルは立ってラマに向かった。）それでもしダビデが死ねば，エホバの計画は水の泡になります。サタンは，嫉妬にやられたサウルが何とかしてダビデを殺そうとしているのをニヤニヤしながら眺めていたはずです。



ヨナタンはダビデを全力でサポートした。

でも，サウルは嫉妬にやられ，エホバが見えなくなってしまった。

（4，6 節を参照）

5. サタンは私たちの嫉妬心を利用してきます。どうしてですか。（ヤコブ 3:14-16）

5 会衆が一つにまとまっていると，エホバの後押しがあります。（詩 133:1 **兄弟たちが一致して共に住む**のは，**何と素晴らし**いことだろう。何と**心地よいこと**だろう。）サタンはそのことをよく分かっているので，何とかして会衆をばらばらにしようとしてきます。そのために嫉妬心を利用して団結力を弱めさせようとします。誰かに嫉妬すると，その人を愛することはできません。（マル 12:30，31 あなたは，**心を尽くし，知力を尽くし，力を尽くし，自分の全てを尽くして，あなたの神エホバを愛さなければ**ならない』。 31 第二はこうです。『あなたは**隣人を自分自身のように愛さなければ**ならない』。**これらより重要なおきては**ほかにありません」。）「あの人がうらやましい。面白くない」。そういう気持ちを抱えながらエホバへの奉仕を頑張っても，無駄になってしまいます。そのことに注意するよう，弟子ヤコブは強く警告しています。（ヤコブ 3:14-16 心の中に**強い嫉妬**や**対抗心(if*利己的な野心)**がある人は，**自慢**してはなりません。**うそを言っ**

て真理に逆らってはならないのです。 15 そのような人の知恵は，天から来るものではなく，地上のもの，動物的なもの，悪魔的なものです。 16 嫉妬や対抗心(if*利己的な野心)があるところには，無秩序やあらゆる不快なものがあるからです。 を読む。）

6. ヨナタンから何を学べますか。（挿絵も参照。）

6 嫉妬心に負けず一致団結しているために欠かせないのは，謙虚にエホバの考えを受け入れることです。サウルの息子ヨナタンはまさにそうしました。ヨナタンはずっと年下のダビデにライバル心を燃やしてもおかしくありませんでした。でも，そうするどころか，「あなたはイスラエルの王になり……ます」と言って，全力でサポートしました。（サム一 23:16，17 サウルの子ヨナタンはホレシャのダビデの所に出掛けていき，エホバへの信頼を強めるよう助けた(d*エホバに関して彼の手を強くした)。 17 ヨナタンは言った。「恐れることはありません。私の父サウルがあなたを見つけることはありません。あなたはイスラエルの王になり，私はあなたの次の地位に就きます。父サウルもそうなることを知っているのです」。）エホバはダビデを王にしたいと思っていました。ヨナタンは謙虚に，そのエホバの考えに自分を合わせました。

7. サタンは会衆をばらばらにしようとしてきます。負けないために何が大切ですか。（エフェソス 4:25-27）

7 クリスチャン会衆はバラエティーに富んだ所です。みんな，育った環境，人種，性格が違います。意見も違えば感性も異なります。サタンはそういう違いを利用して，会衆をばらばらにしようとしてきます。「あの人と私は全然違うから友達にはなれない」と思わせようとします。どうすればそうならないで済むでしょうか。違いを楽しんで，兄弟姉妹みんなと仲良くなりましょう。ちょっとぎくしゃくしているなと思う時は，すぐに解決するようにしてください。（エフェソス 4:25-27 皆さんは偽りを捨て去ったのですから，隣人に真実を語りましょう。私たちは皆で 1 つの体を構成しているのです。 26 腹が立っても，罪を犯してはなりません。怒ったまま日が沈むことがないようにしましょう。 27 悪魔に隙を与えてはなりません。 を読む。コリ一 12:12）忘れないでください。兄弟姉妹は敵ではありません。一緒にサタンと戦っている心強い味方です。（ペテ一 5:8，9 頭がさえた状態(*鋭敏な感覚/冷静さ)を保ち，油断なく見張ってください。敵である悪魔が，ほえるライオンのように歩き回って，誰かをむさぼり食おうとして(*むさぼり食おうと探して)います。 9 揺るぎない信仰を持ち，悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り，世界中にいる，信仰で結ばれた兄弟たちが，同じような苦しみを経験しています。）

8. 兄弟姉妹に傷つけられた時，どうしますか。

8 でも，兄弟姉妹から傷つくようなことを言われたり，されたりすることがあるんじゃないでしょうか。そんな時思い出したいのは，完璧な人なんて誰もいないということです。兄弟姉妹と距離が近くなればなるほど，いろんなところが見えてくるものです。（伝 7:20 常に善を行って罪を犯さない正しい人は，地上に一人もいない。）それで，誰かに傷つけられても，ぐっとこらえて水に流しましょう。（コロ 3:12-14 それで，皆さんは神に選ばれ，神に愛される聖なる人たちですから，温かい思いやり，親切，謙遜さ，温和，辛抱強さを身に着けましょう。 13 引き続き互いに我慢し，寛大に許し合いましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバが寛大に

許してくださったのですから，同じようにしなければなりません。 14 これら全てに加えて，愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです。）そうやって会衆のみんなが一つにまとまっているのを見て，エホバとイエスはニッコリと笑ってくれます。（ヨハ 17:20，21 私は，この人たちだけでなく，彼らの言葉によって私に信仰を持つ人々についてもお願いします。 21 それは，父よ，あなたと私が結び付いているように，彼ら全員が一つになるためです。また，彼らも私たちと結び付いているようにしてください。あなたが私を遣わされたことを世の人々が信じるためです。

反対を使う

9. サタンはどうやって私たちの意気をくじこうとしますか。

9 サタンは私たちを外から攻撃して意気をくじこうとしてきます。使徒パウロは，クリスチャンはみんなそういう目に遭うと書きました。（テモ二 3:12 神への専心を貫き，キリスト・イエスに従って生きようとする人は皆，同じように迫害を受けます。）私たちにはもともと，正当な扱いを受けたいという気持ちがあります。それで迫害されて理不尽な目に遭うと，こんなのはおかしい，正されるべきだと考え，自己弁護に走りたくなるかもしれません。でもそういうことに気を取られてしまうと，良い知らせを伝える時間や体力や気力が奪われてしまいます。（ロマ 12:19-21 愛する皆さん，復讐してはなりません。神の憤りに任せましょう。「『復讐は私がすることであり，私が報復する』とエホバは言う」と書いてあるからです。 20 「敵が飢えているなら，食べさせましょう。喉が渇いているなら，飲む物を与えましょう。そうすれば，燃える炭をその人の頭の上に積むことになるのです」。 21 悪に征服されてはなりません。善によって悪を征服し続けましょう。）

10. イサクは理不尽な目に遭った時，どうしましたか。

10 理不尽な目に遭った時どうしたらいいか，アブラハムの息子イサクから学べます。ある時，イサクはとても理不尽な目に遭います。自分たちが持っていた井戸をフィリスティア人にふさがれてしまいました。フィリスティア人は，お金があって，いい暮らしをしていたイサクをねたんでいたようです。（創 26:12-18 イサクはその土地で種をまいた。その年の収穫は，まいた物の百倍にもなった。エホバが祝福したからだった。 13 イサクは裕福になり，その後も成功していき，非常に裕福になった。 14 幾つもの羊の群れと牛の群れを持ち，大勢の召し使いを抱えるようになったのである。それでフィリスティア人は彼をねたむようになった。 15 フィリスティア人は，父アブラハムの時代に召し使いたちが掘った井戸全てに土を詰め，ふさいだ。 16 アビメレクはイサクに言った。「あなたは私たちよりはるかに強くなりました。私たちの所から出ていってください」。 17 それでイサクはそこから移動し，ゲラルの谷(*ワジ)に宿営を張って住んだ。 18 イサクは，父アブラハムの時代に掘られ，アブラハムの死後フィリスティア人にふさがれた井戸を掘り直した。そして，それぞれの井戸を，父が付けた名前で呼んだ。）家族や家畜のためにも水はなくてはならないものなので，イサクは別の所に移動して井戸を掘ります。すると，またしてもフィリスティア人が「その水は自分たちのものだ」と言い掛かりを付けてきます。ひどい話です。イサクの召し使いたちとフィリスティア人たちは言い争うようになります。でもイサクはそれ以上問題が大きくならないように別の所に移動しました。とても冷静で大人な対応ではないでしょう

か。エホバはそんなイサクを喜び，イサクの努力が報われるようにしました。（創 26:19-25 イサクの召し使いたちが谷(*ワジ)で井戸を掘ると，きれいな水が出てきた。 20 するとゲラルの羊飼いたちが，「その水はわれわれのものだ」と言って，イサクの羊飼いたちと言い争いを始めた。その井戸はエセク(m*争い)と名付けられた。**言い争いがあった**からだった。 21 別の井戸を掘ると，それを巡って**またも言い争いが起きた**。その井戸はシトナ(m*訴え)と名付けられた。 22 その後イサクはそこから移動して別の井戸を掘った。**今度は言い争いが起きなかった**。その井戸はレホボト(m*広い場所)と名付けられた。イサクが言うには，「エホバが広い場所を与え，ここで子孫を増やせるようにしてくださったから」だった。 23 やがてイサクはそこからベエル・シェバに行った。 24 その夜，エホバがイサクに現れて，こう言った。「私はあなたの父アブラハムの神である。恐れてはいけない。私はあなたと共にいるからだ。私に仕えたアブラハムのゆえに，あなたを祝福し，あなたの子孫を多くする」。 25 それでイサクはそこに祭壇を作ってエホバの名を呼んだ(*賛美した)。イサクはそこに天幕を張り，召し使いたちは井戸を掘った。）私たちも理不尽な目に遭う時，感情に流されないでイサクのように穏やかな対応をしたいものです。

11. イエスはひどい目に遭った時どうしましたか。

11 イエスも，たくさんひどい目に遭いました。例えば，親族からは頭がおかしい人呼ばわりされました。（マル 3:21 イエスの親族はそのことを聞き，イエスを捕まえに行った。「彼は**頭がおかしくなって**しまった」と言っていた。）宗教指導者たちからは，「誰の許可を得て伝道しているんだ」と何度も詰め寄られました。（ルカ 11:15，16 しかし，何人かが言った。「彼は邪悪な天使の支配者**ベエルゼブブの力で，邪悪な天使を追い出して**いるのだ」。 16 ほかの人たちは，イエスを試そうとして，天からのしるしを求め始めた。）かわいがっていた弟子の 1 人に裏切られました。（マタ 26:14-16 その時，12 人の 1 人で**ユダ・イスカリオテ**という人が，祭司長たちの所に行き， 15 こう言った。「**イエスを裏切って渡し**たら，何をくれますか」。祭司長たちは銀 30 枚を与えることにした。 16 それ以降，ユダは裏切る良い機会をうかがい続けた。）最後には祭司長と政治家たちから死刑を言い渡されてしまいます。（マル 15:1 明け方になるとすぐ，祭司長と長老と律法学者たちが，すなわち，サンヘドリン全体が協議をした。そして，イエスを縛って引いていき，ピラトに引き渡した。，13-15 群衆はもう一度叫んだ。「杭に掛けろ(*杭に掛けて処刑しろ)！」 14 しかしピラトは言った。「この人がどんな悪事をしたというのか」。それでも群衆は，「杭に掛けろ(*杭に掛けて処刑しろ)！」とますます激しく叫んだ。 15 そこでピラトは，群衆を満足させようと思ってバラバを釈放し，イエスをむちで打たせてから，杭に掛けて処刑するために引き渡した。）こんなにも理不尽な目に遭いましたが，イエスはくじけることなく，最後までエホバのために生き続けました。でもそれだけではありません。イエスはひどい目に遭っても，恨んだり，やり返したりはしませんでした。イエスが逮捕された時，ペテロはイエスを守ろうとして，祭司長の奴隷の耳を切り落としました。でもイエスはペテロを褒めるどころか叱り，奴隷の傷を癒やしてあげました。（ルカ 22:50，51 そして，1 人が大祭司の奴隷に襲い掛かって右耳を切り落とした。 51 しかしイエスは，「やめなさい」と言った。それから，奴隷の耳に触れて癒やした。）イエスの心には，やり返したいという気持ちなど 1 ミリもありませんでした。理不尽な目に遭った時に思い出したい素晴らしいお手本です。

12. マタイ 5 章 43，44 節からすると，私たちは反対してくる人にどんな接し方をしますか。

12 私たちも家族や他の人たちから反対されたり，ひどいことを言われたりされたりするかもしれません。そんな時，サタンは私たちがやる気を失って伝道をやめれば，こっちのもんだと思っています。思い出したいのはイエスの言葉です。イエスは敵を愛しなさい，と教えました。（マタイ 5:43，44 あなたたちは，こう命じられたのを知っています。『隣人を愛し，敵を憎まなければならない』。 44 しかし私は言います。**敵を愛し続け，迫害する人のために祈り続け**なさい。を読む。）つまり反対してくる人たちを嫌いになったり，仕返ししたりしてはいけない，ということです。むしろそういう人たちに対しても，親切に敬意を込めて思いやり深く接したいと思います。（コリ一 13:4 愛は辛抱強く，親切です。愛は嫉妬しません。愛は自慢せず，思い上がらず，）

13. クリスチャンは反対されるとしても，政府に敬意を払うべきです。どうしてですか。（写真も参照。）

13 政府がエホバの証人の活動を禁止したり，私たちの暮らしに影響するような政策を取ったりすることがあります。そうだとしても，クリスチャンは政府に敬意を払うべきです。エホバが命じているからです。（ロマ 13:1，2 **全ての人**は**上位の権威に従わなければ**なりません。**神によらない権威はない**からです。存在する権威は神によって**相対的な地位に据えられて**います。 2 ですから，権威に反抗する人は，神の取り決めに逆らっていることになります。逆らう人は断罪されます。）サタンは全ての政策を直接コントロールするわけではありません。でも，私たちに政治についての意見や思想を持たせようとしてきます。（格 24:21，22 わが子よ，エホバと王を畏れよ。 反対者たち(*変化を求める人たち)と交友を持つな。 22 彼らの災難は突然に起きる。 両者(c*エホバと王のこと)が彼らにどんな破滅をもたらすか，誰が分かるだろうか。，脚注。伝 8:2，3 私は言う。「**王の命令を守りなさい**。あなたは神に誓いを立てた。 3 王の前から不意に立ち去ろうとしてはならない。悪に関わってはならない。王は自分の望み通りに物事を行う。）そうやって私たちが世の中の人のようになっていくのを見て，サタンはうれしくてたまりません。（ヨハ 15:19 **あなたたち**が**世の人々のよう**だったら，**世から好まれる**ことでしょう。ところが，あなたたちは，私が世から選び出し，**世の人々のようではないので**，**世から憎まれ**ます。）



政治に関する世の中の風潮に流されないようにしましょう。

（13 節を参照）

14. エホバの証人だという理由で反対されることがあります。そんな時どんなことを覚えておくといいですか。

14 私たちはみんな，「非難され，迫害され，悪意のあるうそをいろいろ言われる」ことがあります。（マタ 5:11 私のために非難(*侮辱)され，迫害され，悪意のあるうそをいろいろ言われるとき，あなたたちは幸福です。）そんな時，覚えておきたいことがあります。激しく反対していた人

がクリスチャンになったケースはたくさんある，ということです。（テモ一 1:12，13 私は，**力を授けてくださった主であるキリスト･イエスに感謝**しています。私を**忠実な者と見なし，奉仕する務め**を与えてくださったからです。 13 **以前は神を冒瀆し，神の民を迫害し，横柄**だった私が，憐れみを示されました。当時は**信仰がなく，よく知らずに行動**していたからです。）それで，家族とか同僚とかクラスメートにばかにされたり，よく思われていなかったりするなら，その人たちのために祈りましょう。エホバに，「あなたのことを好きになってもらいたいんです。そのためにどんなことができるか教えてください」と祈れます。また，政府関係者が私たちの信条を尊重してくれるよう祈ることもできます。（テモ一 2:1，2 私はまず次のことを勧めます。**あらゆる人について，祈願や，嘆願の祈りや，感謝の祈りを捧**げることです。 2 **王や高い地位にいる人たちについても**です。そうすれば，私たちは神への専心を貫き，常に誠実に，平和で穏やかな生活をしていけるでしょう。）他にも大切なことがあります。長年夫に反対していたものの，今ではクリスチャンになったある姉妹はこう言っています。「人の心を動かすために大事なのは，じっくり向き合う姿勢です。急いだり焦ったりしても何にもなりません」。それで，諦めないようにしましょう。

15. 理不尽な目に遭う時どうすることが大切ですか。

15 理不尽な目に遭うと，何とかして正さないと，という気持ちに駆られるものです。でも，私たちにできることには限界があります。（伝 1:15 曲がっているものは真っすぐにできない。ないものは数えることができない。）エホバは，つらい思いをしていることを分かっていてくれて，将来必ず解決してくれます。（詩 37:18 エホバは，**非難されるところがない人の歩み**を**知っている**。**彼らの財産は永遠に失われない**。）サタンとサタンの手下のせいで起きている悪いことを全部終わらせてくれます。（ヨハ一 3:8 **罪を犯し続ける人**は**悪魔から出**ています。悪魔は初めから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは，悪魔の行いを終わらせる(*滅ぼす)ためです。啓 21:5 そして，王座に座っている方が，「見なさい！ **私は全てのものを新しく**している」と言い，さらにこう言った。「書きなさい。**これらの言葉は信頼でき(*確かで)，真実である**」。）その時が来るまで，本当にやるべきことに力を注ぎたいと思います。目の前にいる人を大切にし，エホバと友達になれるよう根気強く助けていきましょう。

絶対に勝てる

16. サタンと邪悪な天使との戦いに勝つには何が欠かせませんか。（写真も参照。）

16 聖書によると，私たちはサタンと邪悪な天使との戦いに必ず勝てます。（ヤコ 4:7 ですから，神に従ってください。悪魔に立ち向かってください。そうすれば，悪魔は逃げ去ります。ヨハ一 5:4，5 神から生まれた人は皆，世を征服するからです。そして，**世に対する勝利**をもたらすのは，**私たちの信仰**です。 5 **世を征服できるのは誰**でしょうか。**イエスは神の子**であるという**信仰を持つ人**ではありませんか。）そのために大切なのは信仰です。（エフェ 6:16 加えて，**信仰の大盾**を持ってください。それによって**邪悪な者の火矢を全て消す**ことができます。）それで，これからも最高の友達エホバとイエスを心から信じて付いていきましょう。会衆の兄弟姉妹と仲良くし

て，友情を深めましょう。そういう仲間たちは，エホバとイエスが愛している人たちだからです。みんなで一丸となって敵に立ち向かっていきましょう。



サタンと邪悪な天使に勝つ秘訣は，
兄弟姉妹と仲良くなり，
一致団結していること。
（16 節を参照）

17. これからもどうしていきたいですか。

17 サタンは会衆を中からかき乱し，外から攻撃してきます。サタンとの戦いに絶対に負けたくはありません。私たちにはエホバとイエスがいます。私たちが 2 人の手を離さない限り，2 人も離すことはありません。兄弟姉妹もいます。みんな敵ではなく，一緒にサタンと戦っている心強い味方です。イエスが言っている通り，反対してくる人に対しても穏やかに敬意を込めて接しましょう。（ルカ 6:27，28 しかし，聞いているあなたたちに言います。敵を愛し，あなたたちを憎む人に善を行い続けなさい。 28 あなたたちへの災いを願う人のために祝福を求め，侮辱する人のために祈り続けなさい。）サタンの攻撃がどんなに強くなっても，私たちが負けることは絶対にありません。必ず勝てます。

振り返ってみましょう

１．サタンはどうやって会衆をばらばらにしようとしてきますか。

・S03　サタンは会衆の中で仲間割れを起こそうとし、本当の敵のサタンではなく、兄弟姉妹と戦わせようとしてきた。**サタンの狙い**は、兄弟姉妹を嫌いにならせ、エホバの家族と距離を置かせること。

・S05　誰かに嫉妬すると、その人を愛することはできないので、この嫉妬心を利用して団結力を弱めさせようとする。

・S06　嫉妬心に負けず一致団結しているために欠かせないのは、サウルの息子ヨナタンのように**謙虚にエホバの考えを受け入れる**こと。

・S07　育った環境、人種、性格、意見、感性などの違いを楽しんで、兄弟姉妹みんなと仲良くなる。ちょっとぎくしゃくしているなと思う時は、すぐに解決するようにする。

・S08　兄弟姉妹から傷つくようなことを言われたり、されたり**しても**、寛大に許し合い水に流すようにする。

２．サタンは伝道する気をなくさせるためにどんなことをしてきますか。

・S09　外から攻撃して意気をくじくため、迫害や理不尽な目に遭わせて、私たちがそういうことに気を取られるようにして、良い知らせを伝える時間や体力や気力を奪おうとしてきた。

・S12　家族や他の人たちから反対されたり、ひどいことを言われたりされたりしても、その人たちを嫌いになったり、仕返ししたりせず、むしろ親切に敬意を込めて思いやり深く接する。
・S13　政府がエホバの証人の活動を禁止したり、私たちの暮らしに影響するような政策を取ったりしても、政府に敬意を払うべき。

３．私たちはサタンに必ず勝てます。どうしてそう言えますか。
・S17　私たちにはエホバとイエスがいて、私たちが 2 人の手を離さない限り、2 人も離すことはない。兄弟姉妹もいて、みんな一緒にサタンと戦っている心強い味方であること忘れない。反対してくる人に対しても穏やかに敬意を込めて接することも大切。サタンの攻撃がどんなに強くなっても、そうする私たちが負けることは絶対にない。
149 番の歌 勝利の歌

^ （エフェ 6:12） 私たちは戦っているからです。人間とではなく，政府や権威，この闇の世の支配者たち，天にいる邪悪な天使の勢力と戦っています。

^ （エフェ 6:11，　12） 悪魔の策略にしっかり立ち向かえるように，神からの武具を全て身に着けましょう。 12 私たちは戦っているからです。人間とではなく，政府や権威，この闇の世の支配者たち，天にいる邪悪な天使の勢力と戦っています。

^ （エフェ 6:11，　12） 悪魔の策略にしっかり立ち向かえるように，神からの武具を全て身に着けましょう。 12 私たちは戦っているからです。人間とではなく，政府や権威，この闇の世の支配者たち，天にいる邪悪な天使の勢力と戦っています。

^ （イザ 2:4） 神は国々の中で裁きを下し， 多くの人々を正しい方向に導く*。 彼らは剣をすきに， やりを鎌に作り替える。 国は国に向かって剣を振り上げず， 彼らはもはや戦いを学ばない。

または，「人々に関して物事を正す」。

^ （ヨハ 18:36） イエスは答えた。「私の王国はこの世界のものではありません。もしそうだったなら，私に付き従う者たちは，私をユダヤ人たちに渡さないように戦ったでしょう。しかし実際は，私の王国はこの世界からのものではありません」。